

## 最終講義のご案内

立春とは申しませんがなお寒さ厳しき折、皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、長らく明治大学理工学部の教育・研究にご尽力いただきました小泉大一先生と島田徳三先生が、3月をもって定年退職されることになりました。

小泉先生は固体物理学がご専門で、ミクロな原子配列の乱れがマクロな固体の性質に与える影響に関して研究を続けてこられました。なかでも、固体金属の乱れた原子配列の部分に別の液体金属が浸み込むと固体が脆くなる現象について独創的な業績を上げられています。

島田先生は、素粒子物理学がご専門で、現代科学の先端理論である超弦理論から、量子重力やブラックホールなど物理学の根幹に関わる問題のご研究を続けてこられました。また、非線形系におけるカオスにも興味をお持ちで、古典・量子カオスの分野でも多くの業績を上げられています。

小泉先生、島田先生は、ともに今日の物理学科を築きあげてこられたのはもちろんのこと、他学科への物理の基礎教育にも多大な貢献をされてきました。多くの学生に慕われ、ご指導を受けた卒業生たちは学界・産業界で大いに活躍しています。そんな両先生に長年の教育研究の集大成として、下記のとおり最終講義を行っていただけることになりました。

皆様ご多忙の折とは存じますが、ぜひご参加下さいますようお願い申し上げます。

### 記

日時 2019年3月9日(土曜日) 13時30分から

場所 明治大学生田キャンパスA棟4階 A416・417 特殊プレゼンホール

◆ 小泉 大一 教授

時間 13時30分 ~ 14時30分

題目 「液体金属脆化の研究を始めたわけ」

◆ 島田 徳三 教授

時間 15時00分 ~ 16時00分

題目 「楽しかった学生さんたちとの研究生生活を振り返って」